

被災地の観光化を計画する際の諸問題

渥美公秀¹

¹大阪大学大学院人間科学研究科
E-mail: atsumi@hus.osaka-u.ac.jp

広義の防災計画では、被災後の地域の復興過程を想定しておくことが必要であろう。本研究では、国内外の被災地復興における観光化に注目し、観光化を通して見いだされる諸問題を考察することによって、(広義の) 防災計画が含んでおくべき論点を指摘するものである。具体的には、四川大震災の被災地（北川县城、チャン族観光村、建川博物館）、台湾集集大地震の被災地（桃米村）、阪神・淡路大震災の被災地（人と防災未来センター）における観光化への違和感を手がかりに、観光化の問題を空間的縮減、時間的圧縮といった視点から考察し、「誰が誰の生をコントロールするのか」という基本的な問いから、観光化に抗うための論点を提示する。

キーワード：観光化、災害復興、空間的縮減、時間的圧縮